

平成18年度

組織・人員配置等
事業概要

三重県科学技術振興センター

水産研究部

事務分掌表

水産研究部
現在員 47名

部長 西村守央

企 画 調 整 課	10名
-----------	-----

副参事兼課長	出口勝信
主幹	岩城久仁雄
主幹	岡野清和
主幹	神谷直明
主幹兼機関長	岡本楠清
主幹船長	松尾剛平

- 1 職員の身分取り扱いに関する事
- 2 予算、庶務経理及び決算に関する事
- 3 財産の管理に関する事
- 4 調査研究に係る企画連絡調整に関する事
- 5 調査船の運営及び維持管理に関する事
- 6 ISOの認証に関する事
- 7 その他のグループに所管しない事

水 産 資 源 育 成 研 究 課	6名
-------------------	----

総括研究員兼課長	林 政博
主幹研究員	松田浩一
主任研究員	青木秀夫
主任研究員	田中真二

- 1 種苗生産技術の開発に係る調査研究に関する事
- 2 育種技術の開発に係る調査研究に関する事
- 3 魚類防疫対策に係る調査研究並びに指導に関する事
- 4 資源管理型魚類（定着性資源）に係る調査研究に関する事
- 5 産地市場自主衛生管理に関する事

資 源 開 発 管 理 研 究 課	4名
-------------------	----

総括研究員兼研究企画監兼課長	中島博司
主幹研究員	山田浩且
主任研究員	久野正博

- 1 漁海況予報技術の開発に関する事
- 2 資源管理型漁業（TAC対象種）に係る調査研究に関する事
- 3 資源増大技術開発に係る調査研究に関する事
- 4 資源管理型漁業（沿岸資源、TAE対象種）に係る調査研究に関する事
- 5 資源管理型漁業（高度回遊性魚類資源）に係る調査研究に関する事

水 圏 環 境 研 究 課	4名
---------------	----

総括研究員兼課長	西村昭史
主任研究員	藤原正嗣

- 1 環境・生態系保全調査研究に関する事
- 2 内湾漁場環境の調査研究に関する事
- 3 有害赤潮（ヘテロカプサ等）の調査研究に関する事
- 4 有害プランクトン（貝毒）の調査研究に関する事
- 5 下痢性貝毒発生予察技術開発に関する事
- 6 内湾性藻場造成技術開発研究に関する事

地域結集型共同研究課	7名
------------	----

総括研究員兼P研究推進監兼課長 山形陽一
主任研究員 清水康弘

- 1 浚渫土を利用した干潟・浅場の造成技術に関する事
- 2 英虞湾におけるアマモ場造成技術に関する事
- 3 アコヤガイの生理と特性に係る調査研究に関する事
- 4 内湾底泥の物質循環に係る調査研究に関する事
- 5 環境モニタリング技術開発に関する事
- 6 底質改善技術の開発に関する事

鈴鹿水産研究室	7名
---------	----

主幹研究員兼室長 藤田弘一
主任研究員 水野知巳
主任研究員 坂口研一

- 1 貝類の増殖に係る調査研究に関する事
- 2 黒ノリ養殖に係る調査研究に関する事
- 3 内湾環境の保全に係る調査研究に関する事
- 4 浅海域の生態系保全調査研究に関する事
- 5 河川環境の保全に係る調査研究に関する事

尾鷲水産研究室	7名
---------	----

主幹研究員兼室長 津本欣吾

- 1 海水養殖技術の実用化に係る試験研究に関する事
- 2 魚類の防疫対策に係る調査研究に関する事
- 3 マハタ等種苗量産化技術開発研究に関する事
- 4 漁場環境指標策定調査研究に関する事

副参事 黒川芳樹（産業支援センター 派遣）

予 算 総 括

事 業 名 称	期 間	事 業 費
水産研究部予算		
施策234 技術の高度化の促進		
基本事業 23404 公設試験研究機関の充実		計92,642
水産研究部管理費		92,642
施策 224 農林水産業を支える技術開発の推進		
基本事業 22404 水産業を支える技術開発の推進		計69,515
(1) 産地間競争力を高める技術開発		
アコヤガイ凍結保存法による新養殖システム開発費 (水産資源育成研究課)	H16～18	2,800
黒のり優良品種開発に関する研究費 (鈴鹿水産研究室)	H17～19	1,419
「三重のマハタ」高品質・早期安定種苗生産技術開発事業費 (尾鷲水産研究室)	H15～19	11,771
(2) 安全・安心を確保するための技術開発		
(再掲)下痢性貝毒による食中毒の未然発生防止のための予察技術開発費 (水圏環境研究課)	H16～18	2,762
(3) 持続性、安定性、効率性を高めるための技術開発		
イセエビ種苗大量生産技術開発費 (水産資源育成研究課)	H17～19	3,452
イセエビ幼生の好適餌料の開発 (水産資源育成研究課)	H17～20	5,050
アワビ類資源増大技術開発調査事業 (水産資源育成研究課)	H18～20	2,137
トラフグ資源増大技術開発事業費 (資源開発管理研究課)	H17～19	1,440
資源評価調査事業費 (資源開発管理研究課)	H12～	16,465
資源管理に必要な情報の提供事業費 (資源開発管理研究課)	H15～	1,314
日本周辺高度回遊性魚類資源調査事業費 (資源開発管理研究課)	H13～	1,545
資源動向要因分析調査委託事業費 (資源開発管理研究課)	H16～	2,000
自発摂餌システムを用いた養殖魚の飼育技術開発費 (尾鷲水産研究室)	H16～18	2,772
魚類養殖試験 (尾鷲水産研究室)	H18～20	2,033
関東・東海海域における沿岸海況の短期予報研究 (資源開発管理研究課)	H17～19	2,950
(4) 環境保全に向けた技術開発		
ヘテロカプサ赤潮の消長予測技術開発費 (水圏環境研究課)	H18	1,677
生物多様性に配慮したアマモ場造成技術開発事業費 (地域結集型共同研究課)	H16～18	850
英虞湾漁場環境基礎調査費 (水圏環境研究課)	H15～19	2,098
淡水魚の多様性保全に関する研究費 (鈴鹿水産研究室)	H15～19	1,068
(5) 循環型社会実現への貢献のための技術開発		
農林水産バイオリサイクル研究費 (地域結集型共同研究課)	H15～19	1,300
(再掲)未利用海藻活用共同研究事業費 (水圏環境研究課、鈴鹿水産研究室、尾鷲水産研究室)	H17～19	2,612

事業名称	期間	事業費
農水商工部水産室予算		計8,385
(1) 高品質アコヤ貝育成強化事業 (水産資源育成研究課)	H15～18	2,590
(2) 産地市場自主衛生管理型漁業推進事業費 (水産資源育成研究課)	H16～18	1,369
(3) 消費者に安心される養殖水産物の生産体制整備事業費 (水産資源育成研究課)	H16～18	524
(4) マハタ養殖マニュアル作成 (尾鷲水産研究室)	H16～19	374
(5) 貝毒成分モニタリング事業 (水圏環境研究課)	H7～	227
(6) 山・川・海の絆再生による「みえのうみ」魅力創出事業 (鈴鹿水産研究室)	H17～19	563
(7) 魚類養殖漁場環境調査費 (尾鷲水産研究室)	H17～18	466
(8) コイヘルペスウイルス病まん延防止事業 (水産資源育成研究課、鈴鹿水産研究室、尾鷲水産研究室)	H17～18	386
(9) 底曳き網漁業資源回復計画普及推進事業費 (資源開発管理研究課)	H18～19	784
(10) イカナゴ資源回復計画作成推進事業費 (鈴鹿水産研究室)	H15～19	829
(11) 漁場保全対策推進事業費 (水圏環境研究課)		93
(12) 海産稚アコ分布調査 (鈴鹿水産研究室)	H18～19	180
農水商工部水産基盤室予算		計7,374
(1) 藻場・干潟生産力等改善の推進事業費 (鈴鹿水産研究室)	H18～19	7,374
環境森林部水質改善室予算		計4,725
(1) 勢田川浄化に関する生物調査費 (鈴鹿水産研究室)	H15～18	4,725
科学技術振興センター予算		計24,049
(1) 共同研究事業費 閉鎖性海域の環境創生プロジェクト研究事業費 (地域結集型共同研究課)	H15～19	20,568
(2) 研究施設機器整備費 施設整備費		1,317
機器整備費		2,164

事 業 概 要

事業名	予算額 (千円)	事業概要																																				
水産研究部予算 1. 水産研究部管理費	92,642	水産研究部の維持管理費、調査船の中間検査等。(県単) 【調査船】 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">項目 船名</th> <th style="width: 15%;">船質</th> <th style="width: 15%;">トン数</th> <th style="width: 15%;">馬力数</th> <th style="width: 15%;">進水年月</th> <th style="width: 20%;">用途</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>あさま</td> <td>軽合金</td> <td style="text-align: center;">79.0</td> <td style="text-align: center;">D 400</td> <td style="text-align: center;">H14. 3</td> <td>調査研究</td> </tr> <tr> <td>小大勢</td> <td>F. R. P</td> <td style="text-align: center;">1.1</td> <td style="text-align: center;">D 42</td> <td style="text-align: center;">H 4. 8</td> <td>あさま通船 雑作業</td> </tr> <tr> <td>まつかぜ</td> <td style="text-align: center;">"</td> <td style="text-align: center;">1.3</td> <td style="text-align: center;">外 30</td> <td style="text-align: center;">H11. 3</td> <td>養殖作業 湾内観測</td> </tr> <tr> <td>れいすい</td> <td style="text-align: center;">"</td> <td style="text-align: center;">2.6</td> <td style="text-align: center;">D 40</td> <td style="text-align: center;">S62. 7</td> <td>沿岸観測</td> </tr> <tr> <td>灘 風</td> <td style="text-align: center;">"</td> <td style="text-align: center;">1.5</td> <td style="text-align: center;">D 35</td> <td style="text-align: center;">H14. 3</td> <td>湾内観測 養殖作業</td> </tr> </tbody> </table>	項目 船名	船質	トン数	馬力数	進水年月	用途	あさま	軽合金	79.0	D 400	H14. 3	調査研究	小大勢	F. R. P	1.1	D 42	H 4. 8	あさま通船 雑作業	まつかぜ	"	1.3	外 30	H11. 3	養殖作業 湾内観測	れいすい	"	2.6	D 40	S62. 7	沿岸観測	灘 風	"	1.5	D 35	H14. 3	湾内観測 養殖作業
項目 船名	船質	トン数	馬力数	進水年月	用途																																	
あさま	軽合金	79.0	D 400	H14. 3	調査研究																																	
小大勢	F. R. P	1.1	D 42	H 4. 8	あさま通船 雑作業																																	
まつかぜ	"	1.3	外 30	H11. 3	養殖作業 湾内観測																																	
れいすい	"	2.6	D 40	S62. 7	沿岸観測																																	
灘 風	"	1.5	D 35	H14. 3	湾内観測 養殖作業																																	
2. 試験研究費 (1)産地間競争力を高める 技術開発																																						
アコヤガイ凍結保存法による新養殖システム開発費	2,800	飼育による優良母貝の系統保存は、多大な労力を要しコストがかかるうえ、赤潮等で全滅するおそれがあるため、効率的かつ安全に系統を保存するためのアコヤガイの凍結保存技術を開発する。(三重大学委託)																																				
黒のり優良品種開発に関する研究費	1,419	黒のりの採苗技術の改良と細胞レベルの選抜による優良品種の開発により、黒のりの養殖にかかる作業の効率化を図るとともに、病傷害による品質と生産量の低下を軽減する。(県単)																																				
「三重のマハタ」高品質・早期安定種苗生産技術開発事業費	11,771	「三重のマハタ」を真の県の特産品とするために、種苗量産の安定化と高品質(病気に強い、形がよい)な種苗を生産するための技術開発を行う。 (1) 生残率向上試験 (2) 形態異常魚対策試験 (3) ウイルス性疾病(VNN)対策試験。(県単)																																				
(2)安全・安心を確保するための技術開発																																						
(再掲)下痢性貝毒による食中毒の未然発生防止のための予察技術開発費	2,762	人に下痢や嘔吐などを症状とする食中毒を引き起こす下痢性貝毒の発生予察技術を開発する。 (1) プランクトン毒素量のモニタリング技術開発 (2) プランクトン毒素量と二枚貝毒化との関係解明。(県単)																																				
(3)持続性、安定性、効率性を高めるための技術開発																																						
イセエビ種苗大量生産技術開発費	3,452	本県沿岸漁業の重要種であるイセエビの増殖技術の確立を目的として、イセエビ幼生を安定して大量に飼育する技術の開発を行う。 (1) 中後期幼生の大量飼育システムの開発 (2) 幼生の疾病防止技術の開発。(県単)																																				
イセエビ幼生の好適餌料の開発	5,050	イセエビ種苗生産における主要な生物餌料である、アルテミアの養成方法を検討するとともにイセエビ幼生への効率的な給餌条件を明らかにする。(水研センター委託)																																				
アワビ類資源増大技術開発調査事業	2,137	アワビ類資源の増大のため、アワビ稚貝の生育環境など、放流の効果に影響を及ぼす諸要因を調査検討し、より適切な放流手法を開発する。(県単)																																				
トラフグ資源増大技術開発事業費	1,440	トラフグ種苗放流による資源の増大技術開発を行う。 (1) 愛知、静岡、(独)水産総合研究センターとの共同放流調査 (2) サイズ別放流試験 (3) 市場調査による放流魚の再捕率の把握。(県単)																																				

事 業 概 要

事業名	予算額	事業概要
資源評価調査事業費	16,465	イワシ類・アジ・サバ類・ブリ・マダイ・ヒラメ・スルメイカ・トラフグ・マアナゴ・シヤコ等の資源量の評価を行い、漁獲可能量（漁獲割当量）を算出するための基礎資料を収集する。 （１）生物情報収集調査， （２）標本船調査， （３）漁場一斉調査（モジャコ） （４）沖合海洋観測等調査， （５）新規加入量調査， （６）魚種別系群判別会議。（水研センター委託）
資源管理に必要な情報の提供事業費	1,314	本県沿岸の漁況及び海況を定期的に調査して、その情報を関係機関に広報し、資源管理の推進を図る （１）漁海況情報の収集 （２）漁海況情報の解析 （３）漁海況情報の提供。（交付金）
日本周辺高度回遊性魚類資源調査事業費	1,545	マグロ類やカツオなどの高度回遊性魚類について、国際的な資源管理体制の確立が必要となっている。そのため、国を中心とした全国組織のもとに、本県では県立水産高校と連携して、漁獲データや生物調査結果等の収集・解析を行う。（水研センター委託）
資源動向要因分析調査委託事業費	2,000	マイワシ、サバ類などの水産重要種の稚仔魚期および加入後の生残に及ぼすカツオ類の食害の影響を評価する。（水研センター委託）
自発摂餌システムを用いた養殖魚の飼育技術開発費	2,772	自発摂餌システムは魚の摂餌要求に合わせた給餌が可能であり、効率の良い残餌の少ない給餌ができると考えられることから、海面設置型自発摂餌給餌機の開発と、それを用いた飼育試験を実施し、自発摂餌システム実用化をめざした研究開発を行う。（県単）
魚類養殖試験	2,033	魚類養殖業の活性化を図るため、新しい養殖対象魚種として注目されるクエの海面養殖技術の開発と、マダイ養殖のコスト削減を目的として、餌料試験など養殖経営体質強化のための養殖技術開発を行う。（県単）
関東・東海海域における沿岸海況の短期予報研究	2,950	衛星リモートセンシング水温同化技術の開発と海況情報ネットワークシステムの構築、黒潮及び周辺海域の変動特性の解明並びに沿岸海況予報システムの開発により、高精度な海況図の作成、沿岸・沖合海況変動機構の解明、急潮予報システムの開発を行う。（静岡県再委託）
(4)環境保全に向けた技術開発		
ヘテロカプサ赤潮の消長予測技術開発費	1,677	真珠養殖業に多大な被害を与えるヘテロカプサについて、プランクトンの増殖活性を指標とした短期的な赤潮消長予測の可能性を検討する。（水産庁委託）
生物多様性に配慮したアマモ場造成技術開発事業費	850	現在の生態系や漁業活動への影響等に配慮し、安全にアマモ場を造成する方法を確立するため、県内のアマモ類分布の把握を行い、採取したアマモ草体の遺伝子レベルでの類似・相違度を明らかにするため水産庁へサンプル供与を行う。（県単）
英虞湾漁場環境基礎調査費	2,098	英虞湾の水底質環境ならびに餌料プランクトンや赤潮プランクトンの消長等を調査し、英虞湾プランクトン速報として関係機関に情報提供するとともに、漁場環境の長期変動を捉える。（県単）

事 業 概 要

事業名	予算額	事業概要
淡水魚の多様性保全に関する研究費	1,068	県内主要河川における淡水魚類の分布実態を把握するとともに、改修された河川の魚類相復元の可能性やブラックバスなどの外来魚が生態系に与える影響を明らかにし、多様な淡水魚類相の保全手法を見出す。 (1) 淡水魚類分布調査 (2) 淡水魚類相の復元に関する研究 (3) 外来魚が生態系に与える影響に関する研究。(県単)
(5)循環型社会実現への貢献のための技術開発 農林水産バイオリサイクル研究費	1,300	真珠養殖において廃棄処分されるアコヤガイ軟体部の有効利用を図るため、化粧品等の原材料に用いられるセラミドを抽出した後の残渣を飼料化するための検討を行う。(委託)
(再掲)未利用海藻活用共同研究事業費	2,612	アナアオサ、アマモ、スサビノリ等の未利用海藻の有効利用を促進するため、これら海藻の前処理(収穫、乾燥等)技術、単細胞化技術、餌料化技術等の開発を行うとともに、海藻抽出成分投与によるマハタに対するウイルス感染症予防効果を確認する。(県単)

事 業 概 要

事業名	予算額	事業概要
農水商工部水産室予算		
(1) 高品質アコヤ貝育成強化事業	2,590	<p>高品質なアコヤ貝の育成および赤変化を伴う感染症対策に関する試験を行う。</p> <p>(1) 耐病性評価方法の検討 (2) 国内地方系統の貝の養殖特性調査 (3) 耐病性貝試作品の評価・生産 (4) 真珠生産試験 (5) 養殖技術の改善に関する試験</p>
(2) 産地市場自主衛生管理型漁業推進事業費	1,369	<p>水産物の食の安全・安心確保のため船上から荷捌き出荷までの衛生管理体制を確立する。</p> <p>(1) 水産物の漁獲から市場での出荷までの細菌現状調査 (2) 産地市場における衛生管理型施設の有効性調査</p>
(3) 消費者に安心される養殖水産物の生産体制整備事業費	524	<p>医薬品及びワクチンの適正な使用方法を指導するとともに、養殖衛生管理技術の普及、啓発を行う。また、疾病の監視及び発生時の対策を実施する。</p>
(4) マハタ養殖マニュアル作成	374	<p>マハタの飼育管理技術を確立するために、マハタの生理に関する試験を実施し、養殖マニュアルを作成する。</p>
(5) 貝毒成分モニタリング事業	227	<p>二枚貝の毒化状況と貝毒プランクトンの出現量をモニタリングし、出荷自主規制等の措置を講ずることで、貝毒被害を防止する。</p>
(6) 山・川・海の絆再生による「みえのうみ」魅力創出事業	563	<p>水産資源として有用であるとともに、伊勢湾内の自然浄化の担い手として重要なアサリ資源について、漁業者が主体となって調査を行い資源管理を継続できるよう、モデル漁場を選定し資源管理マニュアルを作成する。</p>
(7) 魚類養殖漁場環境調査費	466	<p>三重県下の代表的な魚類養殖漁場である尾鷲湾において漁場環境を把握し、漁業者自身が簡便に調査できる漁場環境指標を検討する。</p>
(8) コイヘルペスウイルス病まん延防止事業	386	<p>県内におけるコイヘルペスウイルス病のまん延防止措置のため、ウイルス病検査体制の整備・充実を図る。</p>
(9) 底曳き網漁業資源回復計画普及推進事業費	784	<p>近年減少しつつある底曳き網漁業対象資源（マアナゴ等）について資源回復に向けて取り組むうえで必要とされる基礎的知見を収集する。</p>
(10) イカナゴ資源回復計画作成推進事業費	829	<p>イカナゴ資源について資源管理型漁業を推進していくうえで必要とされる科学的データを収集し、資源状況を正確に把握する。</p>
(11) 漁場保全対策推進事業費	93	<p>沿岸の漁場環境を保全するため、漁場の監視、被害発生時の情報連絡等漁場監視体制を整備し、公害等による漁場被害の未然防止又は軽減を図るとともに、生物モニタリング調査を実施することにより、海域の富栄養化等長期的な変動についても把握に努める。</p>
(12) 海産稚アユ分布調査	180	<p>海産稚アユを放流用種苗として有効活用するため、効率的な採捕手法等について検討を行う。</p>

事 業 概 要

事業名	予算額	事業概要
農水商工部水産基盤室予算 (1) 藻場・干潟生産力等改善の推進事業費	7,374	伊勢湾の重要資源であり、自然浄化機能の重要な担い手であるアサリを中心に、アサリ稚貝の移動流出防止対策や、タマガイによる食害防止対策確立のための調査・研究を行い、干潟域を主体としたアサリ漁場の生産力改善ガイドラインを作成する。
環境森林部水質改善室予算 (1) 勢田川浄化に関する生物調査費	4,725	勢田川河口干潟において、二枚貝（アサリ）を活用した水質浄化機能の向上手法を検討する。 (1) 干潟周辺環境調査 (2) アサリ天然資源動向調査 (3) 小規模放流試験
科学技術振興センター予算 (1) 共同研究事業費 閉鎖性海域の環境創生プロジェクト研究事業費	20,568	英虞湾の環境改善と新技術の創造を目的とした科学技術振興事業団の地域結集型共同研究事業「閉鎖性海域における環境創生プロジェクト事業」に参画し、英虞湾の自然浄化機能の向上と底質改善ならびに水質予報システムの構築に係る研究に産学官共同で取り組む。 (1) 浚渫土を利用した干潟・浅場の設計造成技術の開発 (2) 細胞培養を利用したアマモ種苗量産と藻場造成技術の開発 (3) 底質改良技術の開発 (4) シミュレーションモデル開発のための海域環境調査(流動観測, 栄養塩等調査) (5) 生態系モデルでの底質における物質循環モデルの開発 (6) 養殖適正量評価のためのアコヤガイ成長モデルの開発 (7) その他委託事業
(2) 研究施設機器整備費 施設整備費 機器整備費	1,317 2,164	施設の整備、工事 備品の更新、整備